

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2 練習について

練習はサブトラックを使用すること。ただし、投てき競技の練習は競技場内で競技役員の指示に従い行うこと。

### 3 招集について

(1) 招集所は、雨天練習場に設ける。ただし、リレー種目の予選についてはサブトラックで招集を行う。

(2) 各種目の招集開始時刻、完了時刻はプログラムの競技日程を参照すること。

(3) 招集の手順

ア) 招集開始時刻に招集所で競技者係による点呼と、ナンバーカード、スパイクピンの長さ（走高跳・やり投は12mm以下、その他は9mm以下）等の点検を受ける。

イ) 点呼の代理は認めない。ただし、多種目に同時に出場する競技者は、あらかじめ本人が招集所に備えてある『多種目同時出場届』に必要事項を記入し、競技者係に提出した場合に限り代理人による点呼を認める。

ウ) 競技を棄権する場合は、招集所に備えてある『棄権届』に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

エ) 招集完了時刻に遅れた競技者、チームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。

オ) リレーオーダー用紙は、出場種目の第1組の招集完了時刻2時間前から1時間前までに、雨天練習場の競技者係に提出すること。（準決勝、決勝についてもオーダー変更の有無にかかわらず同様とする）

### 4 競技について

(1) レーン、試技順はすべてプログラム記載の通りとする。（グランプリ種目はデイリープログラムによる）

(2) 腰ナンバー、別ナンバーは競技終了後、フィニッシュ地点のナンバーカード係に返却すること。（グランプリ種目は返却しなくてもよい）

(3) スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした者（チーム）は失格とする。ただし、小学生種目は日本語コマンドとし、2回目に不正スタートをした者（チーム）は失格とする。

(4) 走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（天候により変更する場合がある）

小学男子	練習 1m05	1m10-1m15-1m20-1m23-1m26	以後 3cmずつ上げる
小学女子	練習 1m00	1m05-1m10-1m15-1m18-1m21	以後 3cmずつ上げる
中学女子	練習 1m35	1m40-1m45-1m48-1m51-1m54	以後 3cmずつ上げる
一般・高校女子	練習 1m50	1m55-1m58-1m61-1m64-1m67	以後 3cmずつ上げる

(5) ドーピング検査については、すべて係員の指示により行う。

### 5 競技用具について

(1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のもを競技場内へ持ち込むことはできない。

(2) 競技場備え付けの投てき用具リストは、西側用器具庫前（フィニッシュ側）に掲示する。リストにない器具の使用を希望する競技者は、当該器具の検査を受けて使用することができる。検査は競技開始2時間前に西側用器具庫内の公式計測員に申し出ること。この場合、当該器具は出場競技者全員で共有するものとし、競技終了後西側用器具庫で返却する。

### 6 表彰について

各種目3位（グランプリ男女10000m・アシックスチャレンジは8位）までを表彰する。

### 7 立ち入りエリアの制限について

4月26日（日）は有料競技会なので、競技場入場の際には、必ずIDカードをつけること。なお、IDの種類により、立ち入り可能エリアが異なる。

### 8 更衣について

4月26日（日）は、メインスタンド下の更衣室はグランプリ選手用とし一般選手の使用はできない。

### 9 その他

(1) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は一切負わない。

(2) 競技結果及び準決勝、決勝への出場資格は場内スクリーンに表示するとともにアナウンスによって発表する。また、メインスタンド入口ゲート付近にも掲示する。（結果はB・Dゲート、番組編成は招集所・Cゲート）なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点をもって正式発表とする。

(3) 記録証明書を希望する競技者は、1種目につき500円を添えて、Cゲート付近プログラム販売所の庶務係へ申し出ること。

(4) 貴重品は、各自・各チームで管理すること。万一被害にあっても主催者は責任を負わない。

(5) 競技場内外は清潔に保つこと。（ゴミの持ち帰りにご協力ください）